

補助26号線沿道地区『街づくりに関するアンケート』の結果（概要）

令和元年9月に発行した街づくりニュース第4号とともに配布した『街づくりに関するアンケート』の結果（概要）について、ご報告いたします。

結果の詳細は、「第5回補助26号線沿道地区街づくり懇談会」でご提示する予定です。ご協力いただきありがとうございました。

【調査目的】 補助26号線沿道の将来の街の姿に対する意向の把握

【調査対象】 補助26号線の沿道30m以内にお住まいの方や土地・建物を所有する方

【実施期間】 令和元年9月17日（火）～11月30日（土）

【配布数】 779通 【回収数】 18通

問1 補助26号線沿道の将来の街の姿について、「将来こうなるとほしいと思う街のイメージ」や「将来こうあるべきと思う大切にしたい考え方」をお選びください。

選択肢（複数回答可）	回答数
2～3階建て程度の住宅を中心としたまち	5
5階建て程度までが可能な住宅を中心としたまち	9
小規模（150㎡程度）のコンビニエンスストアやカフェなどの店舗や飲食店などがあるまち	11
中規模（500㎡程度）の食料品スーパーや銀行の支店などの店舗や病院などがあるまち	4
比較的規模の大きな（1,500㎡程度）の食料品スーパーマーケットなどの店舗や事務所などがあるまち	0
パチンコ店やカラオケボックスなどがあるまち	0
その他（「子どもや高齢者が安心して歩けるまち」、「街路樹や植栽の美しい緑あふれるまち」、「沿道は（選択肢）2・3・4、それ以外の区域は1を基本」、「大型道路ができる分、緑の多いまち」、「带状の沿道と面としての住宅地がバランスのよいまち」）	5

問2 その他、沿道地区の街づくりについて、ご自由にお書きください。

●用途地域について

- ・第一種低層、静かな環境を守ってほしい。
- ・道路脇の土地の用途地域は変更し、一階はカフェなどができるようになると街全体の雰囲気良くなると思います。
- ・沿道の用途地域は建て替えの際に少しでも広く造れる様に緩和してほしい。

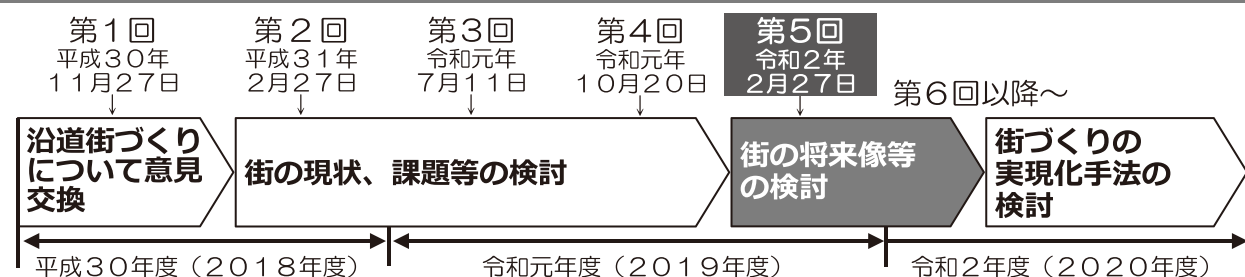
●街並みについて

- ・ゆったりとした街並みにしてほしい。
- ・無電柱化や植栽による美しい都市景観を創出してほしい。
- ・桜並木やイチョウ並木等の並木のある沿道にしてほしい。

●道路整備について

- ・一日も早い完成を願っています。
- ・工事計画をすぐに中止して下さい。

『補助26号線沿道地区街づくり懇談会』の進め方イメージ



●これまで開催した「補助26号線沿道地区街づくり懇談会」の資料や「街づくりニュース」は、世田谷区のホームページからご覧いただけます。

●北沢タウンホール11階 北沢総合支所街づくり課にお越しいただければ、ご提供いたします。

補助26号線 街づくり 検索

<お問い合わせ先>

世田谷区 北沢総合支所街づくり課	担当：岡崎、高安、北島、伊藤 電話：03-5478-8073 FAX：03-5478-8019
目黒区 都市整備部都市整備課	担当：鎌瀧、渡部 電話：03-5722-9714 FAX：03-5722-9239

補助26号線沿道地区

令和2年1月

発行：世田谷区北沢総合支所街づくり課
目黒区都市整備部都市整備課

街づくりニュース 第5号

日頃から、世田谷区及び目黒区の区政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

世田谷区と目黒区では、東京都による都市計画道路幹線街路補助線街路第26号線（以下「補助26号線」といいます。）の都市計画事業を契機に、地域の皆様と沿道の将来像を考える「補助26号線沿道地区街づくり懇談会」を開催しています。

この度、「第5回補助26号線沿道地区街づくり懇談会」を開催することになりましたので、是非ご参加ください。

この「街づくりニュース」は、補助26号線沿道地区（三角橋交差点～淡島通りの区間で、都市計画道路計画線からおおむね30mの範囲）にお住まいの方と土地や建物を所有する方のほか、個別にご希望いただいた方に、配布・郵送しています。

第5回 補助26号線沿道地区街づくり懇談会 を開催します。

■日時 令和2年 2/27(木)
18:30～20:30（開場18:00）

■会場

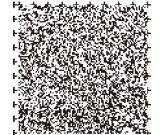
北沢タウンホール12階 スカイサロン
（世田谷区北沢2-8-18）



■街づくり懇談会の内容

令和元年9月から11月に実施した「街づくりに関するアンケート」の結果報告を行うとともに、これまでの街づくり懇談会等でいただいたご意見を踏まえた上で、街の将来像について意見交換を行う予定です。

どなたでもご参加いただけます。
事前予約は不要です。
当日、直接会場へお越しください。



第4回 補助26号線沿道地区 街づくり懇談会の開催概要

【日時】令和元年10月20日(日) 9:30~12:30

【集合】世田谷区立池之上小学校 1階 家庭科室【参加者】15人

●街歩き

街歩きは、補助26号線の道路計画線の位置などを示した「街歩きマップ」を見ながら、2つのグループで現地を歩きました。

●第3回街づくり懇談会の振り返り

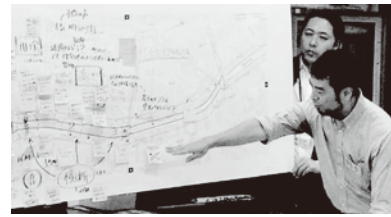
令和元年7月11日に開催した第3回街づくり懇談会での意見交換やアンケートの概要のほか、いただいたご意見やご質問について、東京都及び区からの回答を示した資料の確認を行いました。

●意見交換

意見交換では、参加者の皆様に、街歩きをしたグループごとに2つのテーブルに分かれていただき、「補助26号線沿道地区の将来像」をテーマに、街歩きをして気付いたことも踏まえて、お話いただきました。

各テーブルでは、拡大した「街歩きマップ」に、各自のご意見やご質問をご記入いただいた「付せん紙」を貼り、意見交換を行いながら整理しました。

最後に、各テーブルで出されたご意見やご質問を、全体で発表し、参加者全員で共有しました。



アンケートの意見(要旨)

●沿道街づくりについて

- ・用途地域について、沿道は若干の変更は良い。その他の住宅地はできる限り現状を維持する。
- ・大通りが出来ると色々なお店もできると思いますが、住民の方の今の静かさを妨げになるようなお店が出来るのは心配である。

●補助26号線の整備について

- ・工事期間は長期にならないようにして欲しい。
- ・エンジンをふかすことによる騒音を考慮しているのだろうか。

●その他

- ・街歩き自体は発見が多くあり、有益であった。

街づくりアドバイザーからのコメント

街歩きを行い、具体的な議論が増え、沿道街づくりの検討が更に進展したように感じました。

交通は「川の流れ」のようなものです。小川しかなかった地域に大河ができ、便利になる一方で上手くさばかないと許容量を超えてしまいます。周辺道路を含めた視点で考えることも必要になります。

また、店舗は「人の流れ」の多い場所へ集積するのが一般的なので、当地域に店舗が定着するかどうかは、道路の形状などを確認しながら検討する必要があります。

「交通の流れ」は、街の利便性、安全、賑わい、活気などに関係します。街にとって良い「流れ」をどのようにするかという視点は、今後の議論の助けになると思います。



街づくり
アドバイザー
寺内義典 教授
(国士舘大学)

意見交換における主なご意見・ご質問

●沿道地区の将来像について

- ・静かな住環境を維持したい。
- ・現在の静かな住環境も魅力的だが、高齢者が孤立しないよう、若い世代も住む活気のある街になると良い。
- ・子どもの声が聞こえ、活気ある明るい街になると良い。
- ・がけの部分について、公園を拡大するとかできないか。
- ・沿道の街づくりは、建物の高さ、音の観点から住みやすいまち、環境づくりをしてほしい。
- ・後背地が日影になることは避けてほしい。
- ・身近なところでショッピングできるのも良い。以前はもっとお店があった。
- ・沿道建物の高さは、現状(10m)より少し高くなるのはやむを得ないと思う。
- ・規制緩和をするようなことも考えてはどうか。
- ・日常の買い物ができる店舗やレストランがあると良いが、淡島通りの沿道(近隣商業地域部分)と同じような街並みになるのは考えにくい。
- ・共同化してマンションを建てられるようにすることも考えられないか。
- ・鳥や虫の育つ環境を取り戻したい。
- ・住環境が守られる範囲で堅ろうな建物も必要ではないか。
- ・沿道の街づくりとはいえ、所有者の意向による部分もあるので、簡単にはいかないのではないかと。
- ・用途地域や地区計画等のしくみを街づくり懇談会の中で説明してもらいながら、住宅地の環境維持を軸とした街並みのルールを検討したい。

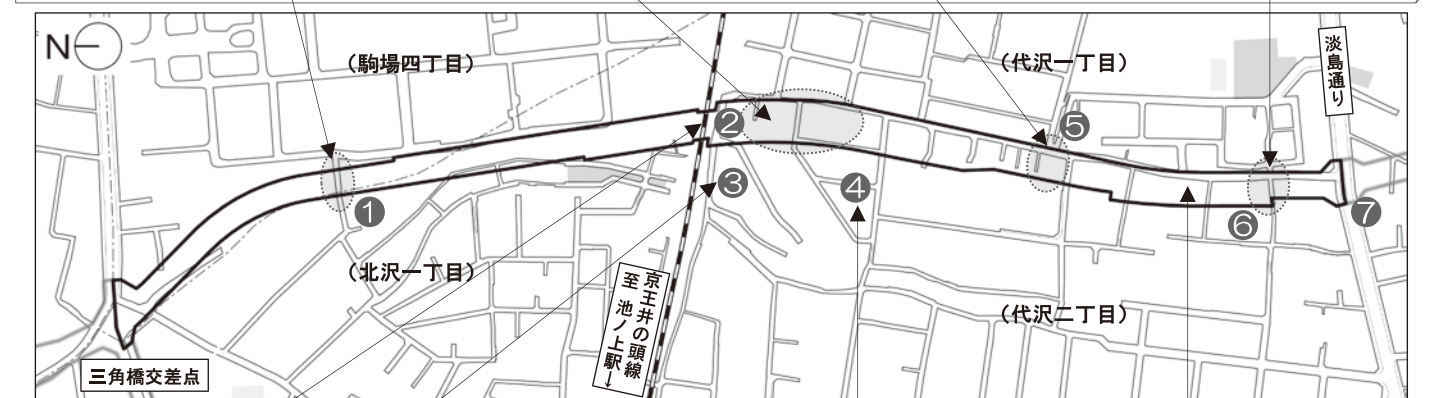
●沿道地区周辺の交通について

- ・京王井の頭線に面する南側の道路を拡幅してほしい。
- ・京王井の頭線の南側では、補助26号線の交通だけでなく、大きな道路ができることで抜け道となる道路など、周辺の交通動線も考慮した計画をしてほしい。
- ・京王井の頭線北側では、現状の交通動線に満足しているので、あえて補助26号線から西側に新たに自動車が入り込まないような策を講じ、住宅地の交通安全を保つことも考えられるのではないかと。

●道路整備について

補助26号線の横断 … 日常の利便や災害時の避難のため、横断を確保してほしい。(下図参照)

- ① 付近
 - ・東大通路部分の横断を確保してほしい。
- 掘削部分
 - ・天蓋をかけた公園にすると、横断できる場所になる。
- ⑤ 付近
 - ・東西を渡れるような地下通路ができないか。
- ⑥ 付近
 - ・道路よりも高い位置で、車イスも横断できる太鼓橋のような構造物がほしい。



- ② 付近
 - ・補助26号線と周辺の道路はどのように高低差処理をするのか。
- ③ 国有地
 - ・国有地を代替住宅や災害対策に活用してほしい。
- ④ 付近
 - ・万が一、付近にある窪地が浸水した際、移動ルートがかなり限定されてしまうことに不安を感じる。
- ⑤~⑦ 付近
 - ・傾斜部分は車の音が大きくなるのではないかと。

その他

- ・路地と大通りのある街になり、非常にアンバランス。全体をみて計画をしてもらいたい。
- ・工事期間中の工事車両の動線が不安なため、どのようにするのか提示してほしい。